

令和3年度
教育課程特例校における特別な教育課程
【実施状況報告】

箕面市立第一中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

小学校から英語に触れる機会があることで、楽しいと肯定的回答をしている生徒が7割を超えている。生徒たちが英語に親しみをもって、継続的に学習できている。

授業で、英語で歌を歌ったり、ALTの先生とのアクティビティを通して、英語でコミュニケーションをとったりして、自然と英語で話す機会が増えている。

3.今後に向けて

英語科の学習内容がより深まるよう、英語コミュニケーション科と連携を図る。

自ら考え、表現する活動を通して、自己表現の機会を多くし、英語への興味関心を深め、学習内容の定着につなげていく。